

教えて

バイエリアの先生

Lily of the valley Floral Design School
浦田 葉子 先生

サニーバールで約40年にわたりフラワーデザインを教える
「Lily of the valley」は、草木や花々の自然なフォルムを生かした
クリエイティブな指導が評判の教室。今回は、同教室を率いる浦田葉子先生にお話を伺いました。



フラワーアレンジメントを始めたきっかけ

学習院大学付近の自然豊かな環境で育ち、植物を育てることが大好きで、母がいつも飾っていた花を見て育ちました。大学生になって、今年創立62年のマミフラワーデザインスクールで学びました。フラワーデザインは花達に自分の意志を入れる事により、一層美しく表現できる夢の世界でした。

教室を始めたきっかけ

夫の渡米に伴いアメリカに来て、グロサリーストアでレジに並んでいた時、すぐ前の女性が真っ赤な椿を髪飾りにしていたのに感動しました。その後、フラワーデザインを習った経験をアメリカで生かしたいと思い、5年後に近所のフローリストで働きました。日本より安い生花や見たことも無いドライフラワーにたくさん出会ったこと、バイエリアには生け花の教室はあっても、コサージュやブーケやアレンジメントの教室はなかったのを始めました。

生徒たちと向き合う中でのこだわり

約40年の間に1000人以上を指導しましたが、自分の大好きな作品ができるとそれが自信になり、顔つきまで変わり、人間的にも成長する事を実感しています。ベーシックの時から「人と同じ作品は作らないで」と指導し、クリエイティブなデザイナーを育成

する事を目指しています。教室のお稽古代は当初から安価でしたが、手間はかかっても花木を育てることで花問屋では手に入らない、ハーブを多数含んだ植物達を花材に使っています。五感に訴えるナチュラルな花材は、あちこちの争いや気候変動等の不安な日々を心和ませてくれると教室の皆さんに好評です。また、14年前から庭の植物を家での練習用にも無償提供しています。

休みの日の過ごし方や趣味について

趣味が仕事なのと、庭のビワの葉から作ったスキンケアコスメの仕事もあるので年中大忙しですが、気分転換の就寝前の読書は欠かしたことがありません。他に夫と共通の趣味の天体観測。季節限定のペットはオレンジ色のモナーク蝶の幼虫を庭にあるミルクウィードで見付けると、ケージに入れて成長させ、羽化したら人差し指から青空に向かって飛び立たせること。

今後の目標

「家の中に花があると明るくなる」というのはどなたからも伺いますが、日本では味わったことのないストレスと出会うアメリカの生活を忘れ、一心に花達をデザインする至福の時間を一人でも多くの方に体験していただくこと。これからもビックリするような花材を用意しますので、ご期待下さい！

Lily of the valley Floral Design School

【住所】 Cascade Dr., Sunnyvale, CA 94087

【電話】408-733-4738

【Eメール】suzuranamerica@gmail.com

【ウェブサイト】www.lilyofvalley.com

【営業日】水～金曜日 10:00am～12:00pm